

平成31年度（2019年度）事業計画

本会は、ここ数年、会員の減少化傾向を受け会員増強に向けた諸活動に組織を挙げて取り組むとともに経営の健全化・安定化を目指し収益事業の柱である学士会館の運営事業に注力してきた。

また、昨年度は築後90年以上が経過した学士会館の整備問題に関する専門委員会を設け、多角的・専門的な視点からの検討を行い、今後の取組みに関する基本的方向性について取り纏めを行った。

平成31年度（2019年度）は、上記の状況を踏まえつつ以下を重点課題に掲げ精力的に取り組むとともに、事業計画に定める諸事業を着実に実施していく。

1. 平成31年度重点課題

(1) 学士会館の整備問題に向けた本格的活動の展開・推進

昨年度は、事業計画に基づき理事会の下に学士会館の整備問題に関する専門委員会（「学士会館整備検討委員会」）を設置し、会館整備に関するさまざまな選択肢について本格的検討を行い、会館整備に関する基本的方向性に関する答申を行った。

本年度は、委員会答申を踏まえ策定した会館整備に関する基本方針に基づき、学士会館の整備・再開発に向けた具体的な活動に着手するとともに、重要な意思決定に際しては、代議員総会の承認を求めるなど所要の手続きを踏みながら、課題に取り組んでいく。

なお、本年度は学士会館の耐震基準を満たすため、1ヶ月間（7/29～8/30）の休館を伴う本格的な「耐震補強工事」を実施し、会館の安全性向上に一層努める。

(2) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施

本年度も引き続き、本会の存在や活動が広く認知され、且つその存在・活動が会員にとって魅力ある、また価値あるものにするため、実施事業の一層の質的充実を図る。

本会の代表的事業である『學士會会報』及び「午餐会」「夕食会」等の講演会における内容の充実に一層努めるとともに、会員各層のニーズを踏まえた新たな企画を開発し実施していく。

(3) 会員増強に向けた取組みと七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の構築と連携・協働事業の実施

会員増強のための常設委員会である「会員増強実行委員会」の提案を受け、会員増強（入会者を増やし退会者を減らすための活動）に向けた各種取組みを行っていく。

特に、入会者の入会動機の内、大きなウエートを占める「会員等からの紹介・勧誘」による入会実績を一層伸ばすべく、組織的な「紹介キャンペーン」を実施し会員へ協力を呼び掛けるなどして、入会者の増加を図っていく。

また、七大学及び関連同窓団体との連携に基づく組織的な入会勧誘活動を展開し、成果に繋げていく。なお、昨年度は七大学全てにおいて、新入学生に対する本会の「学生会員」勧誘の取組みに協力を得ることが出来たため、本取組みを積極的に推進する。

2. 事業計画

今年度は、定款に定める諸事業を着実に実施するとともに、上記の重点課題に対応するべく、以下の事業・活動に取り組んでいく。

(1) 会員向け事業及び会員サービスの展開

- 『學士會会報』『NU7』の発行及び内容の充実
- 会員限定サイト上での『學士會会報』バックナンバーの公開
- 午餐会・夕食会・地域講演会・その他イベントの充実・拡大
- 会員各層（若手・女性・シニア・地域等）の要望に応える企画の開発・提供
- 同好会活動やその他会員による親睦・交流を目的とした自主的活動への支援

(2) 七大学及び七大学関連団体との連携及び活動支援

- 「同窓会担当事務局連絡会議」の開催等、七大学間の情報交換・交流支援の活動
- 実態的な大学支部活動の展開
- 各大学所在地における七大学及び同窓団体との共催等による講演会・交流会の実施
- 「全国七大学総合体育大会」協賛、七大学学生・OB団体活動に対する支援や協力
- 学士会館内で実施される七大学及び全学同窓会等の全学的催しに対する賛助金支給

(3) 会員増強に向けた活動の展開

- 卒業時・修了時における組織的入会勧誘の実施（首都圏外への取組み）
- 組織的な「紹介キャンペーン」の企画・実施
- 七大学の協力による入学時の学生会員登録活動や学生会員向けイベントの実施
- 学士会館内で開催される七大学関連の会合・同窓会等に対する入会勧誘の実施
- 準会員登録活動の展開及び正会員入会の働きかけ

(4) 学士会館の適切な維持保全

- 学士会館の耐震診断結果（千代田区に報告済み）に基づく「耐震補強工事」の実施
- 適切な劣化対応の実施
- 防災・防火体制の整備と実践的防災訓練の継続実施